



Tokyo Tech



Innovator and Inventor
Development Platform

2022年9月入学修士課程学生向け キャリア科目履修オリエンテーション

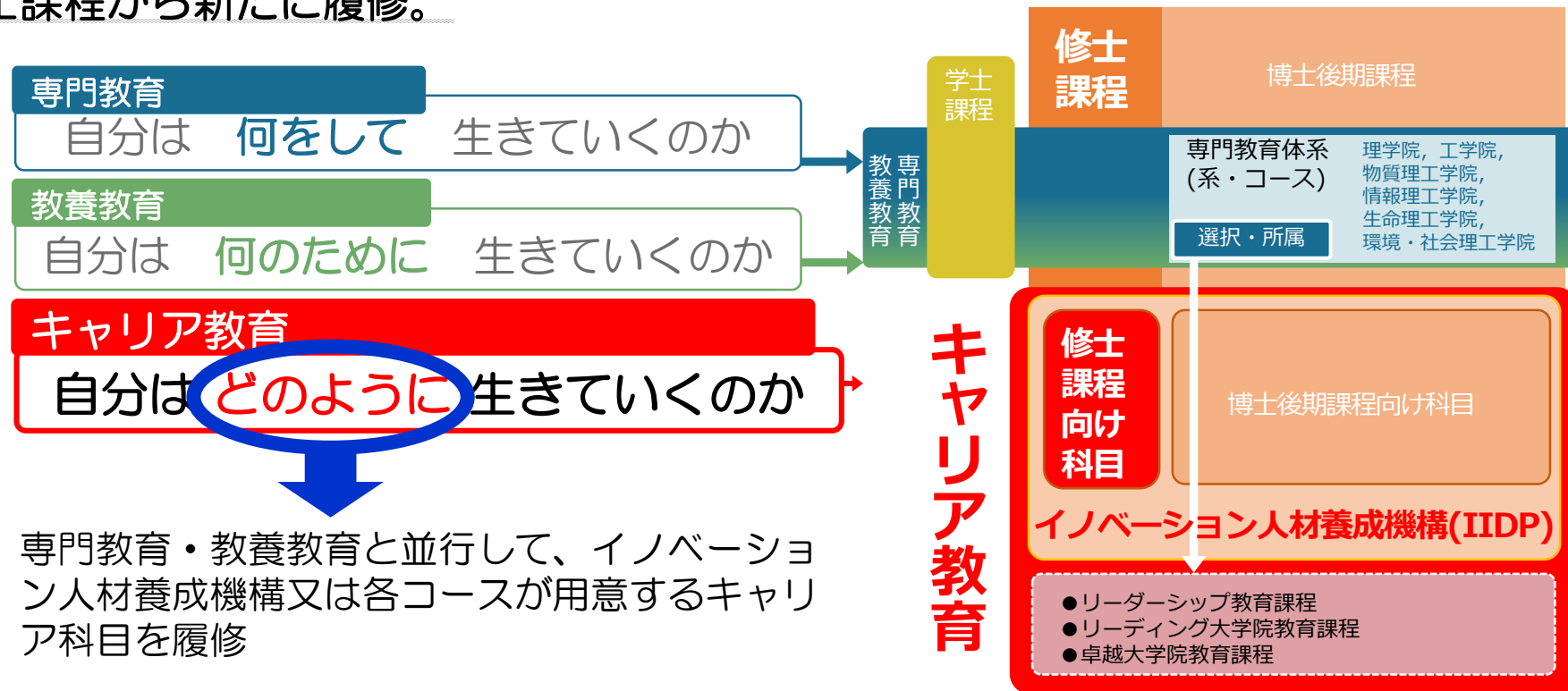
2022年(令和4年)9月30日

東京工業大学イノベーション人材養成機構(IIDP)

iidpinfo@jim.titech.ac.jp

「キャリア教育」の目的

東工大で身に着けた卓越した理工系の専門能力を、社会で最大限に活かしていくために修士課程から新たに履修。



将来のキャリア構築や就職活動で直接役立つ知識・スキル等を身に付ける

就職活動やその後のキャリア構築で直ちに役立つ**知識**

組織におけるお金の流れ

法律・倫理

起業

倫理

業界・職種研究

標準(規格)

就職活動やその後のキャリア構築で直ちに役立つ**スキル**

就職活動

自己理解・自己PR

コミュニケーション

クリティカルシンキング

マナー

文章の書き方

大学

サービス企業

製造業

研究機関

大企業

外資系企業

ベンチャー企業

就職活動

リーダーシップ

転職

起業

スキルアップ

自己啓発

社会で活躍する方々の実体験に基づく**ロールモデル**

「キャリア科目」についてよくある質問

Q1. キャリア科目では、就職活動に必要なノウハウを勉強するのか。

A. 東工大のキャリア科目は、修士課程を修了後、アカデミアや産業界でキャリアを構築していく際に必要となる知識やスキルを学習するとともに、様々な分野で活躍する方の講義を聴き、ロールモデルとして自分の将来に役立てることを目的としています。もちろん就職活動でも役立ちます。

Q2. 東工大では専門分野をしっかり勉強すればよく、それ以外は必要ないのではないかと。

A. 専門分野の勉強はもちろん大切です。しかし、社会は、技術だけではなく、ルール、お金の流れなど他の要素が複雑に関係して動いています。それらの概要を知り、さらに先輩がどのようにキャリアを歩んでいたかを聞くことで、自らの進路を考え、キャリアを構築していく上で大いに役立ちます。

Q3. 専門分野以外のことを少々勉強したくらいでは、その道の専門家にはかなわないので、意味がないのではないかと。

A. 確かにその道の専門家と同じレベルまで到達するのは容易ではありません。しかし、自分の専門分野以外のことの大枠を知っていると、社会に出た後に専門家と一緒に仕事をする機会に大いに役立ちます。

- 「講師の方々の人生経験を聞けるいい機会であったため、この授業が毎週の楽しみであり、かつ毎回の授業で学ぶことが大いにあった。」
- 「この講義がなかったら就職活動も周りに流されながら行ってしまうかもしれないと考えると、この講義を受講して本当に良かったと思っている。」
- 「キャリア科目が、必修授業で「取らないといけない」授業で良かったなと思います。週に一度、研究活動や授業でなく、自分の将来を考える時間が設けられていたことはとても有意義でした。」
- 「大学で学び、社会に活かそうとしている技術がどのように活用されるのかをイメージしやすくなったように思う。今後企業で働く身となったときには、技術だけにとらわれず、ルールをはじめとした様々な要素を意識して思考、行動できるようにしていきたい。」
- 「講義のレポートを書くことを通じて、文章を書く力が多少改善された。今まで文章を書くことが億劫で仕方なかったが、そういった抵抗感が少し和らいだと感じている。レポートの書き方は参考になった。」
- 「この科目を受ける前は、東工大生の強みは専門力であり、これを企業に猛アピールすれば就職後も困らないと思っていた。しかしこの授業を通して、そのようなことはなく、東工大生であっても専門力だけではなく社会や経済のルールもある程度は把握しておくことが必要であることに気づくことができた。」

キャリア科目で履修が必要な単位・GA (Graduate Attributes)

【開講元】キャリア科目には、イノベーション人材養成機構(IIDP)が開講するものと、所属するコースが開講する科目のうち、キャリア科目とみなせるもの(各コース等の「学修課程」に記載)あり。

【単位】それぞれのキャリア科目には、履修することで得られる「**単位数**」が設定されている。多くが**1単位**。修士課程修了には、キャリア科目のなかから2単位以上履修する必要あり。

【GA】それぞれのキャリア科目には下記のGA (Graduate Attributes) が設定されている(多くの科目はどちらか片方のGAが設定)。2つのGAを両方満たす必要あり。修士課程修了までの2年間で、2GAを満たす2単位を履修するスケジュールを考えること。その際、GA0Mが含まれる科目を最初に履修し、別の学期でGA1Mを含む科目を履修するというように、段階的に履修するように科目設計がなされているので考慮すること。

修士課程GA (Graduate Attributes for Master's course)

【GA0M】自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係、倫理を含めて認識できる。

【GA1M】自らのキャリアデザインを実現するために必要となる知識・スキル、倫理等を修得し、他者と共同して課題解決に貢献できる。

※GAの名称、内容は2022年度入学生から変更になっています。

- 修了要件については、必ず所属コースの学修案内などの規定に従うこと。
- 社会人として実務の経験を有する学生のために開講されている科目(「修士リカレント研修」)もあるので、必要があれば指導教員と相談すること(スライド11参照)。

IIDP開講の修士課程向けキャリア科目一覧(2022年度)

GA クォータ	GA0M	GA1M
1Q	➤ 修士キャリア構築基礎【A1】【A2】【A3】 ➤ Master's Global Career Development Literacy【A】 ➤ 修士キャリアデザイン演習【A1】【A2】	
2Q	➤ 修士キャリア構築基礎【B】 ➤ 修士キャリアデザイン演習【B1】【B2】	➤ 修士社会・ビジネスのルールと倫理【B1】【B2】 ➤ Master's Scientific Communication
3Q	➤ 修士キャリア構築基礎【C】 ➤ Master's Global Career Development Literacy 【C】 ➤ 修士キャリアデザイン演習【C1】【C2】	➤ 修士キャリア構築ロールモデル【C】 ➤ 修士社会・ビジネスのルールと倫理【C】 ➤ 修士研究と社会貢献【C】
4Q	➤ 修士キャリアデザイン演習【D1】【D2】	➤ Master's Critical Thinking 【D】 ➤ 修士キャリア構築ロールモデル【D】
各Q 開講	➤ 修士リカレント研修1-1【A】【B】【C】【D】 ➤ 修士リカレント研修1-2【A】【B】【C】【D】 ➤ 修士リカレント研修2 【A】【B】【C】【D】	➤ 修士リカレント研修1-1【A】【B】【C】【D】 ➤ 修士リカレント研修1-2【A】【B】【C】【D】 ➤ 修士リカレント研修2 【A】【B】【C】【D】 ➤ 修士企業研究インターンシップ【A】【B】【C】【D】

(※)・英語で書かれている科目は英語で開講される。1Q、2Q、3Q、4Qに開講される科目がそれぞれ【A】、【B】、【C】、【D】と表記される。【A1】、【A2】、【A3】のように数字があるものは、同じ内容の講義が週3回開講されることを示す。

- ・上記は現時点での予定であり、今後変更になることあり得る。IIDPが開講するキャリア科目一覧は、次の「大学院授業時間割表」サイトの、「キャリア科目」に掲載。<https://www.titech.ac.jp/student/students/life/graduate-timetables>
- ・IIDPが開講する各科目の詳細な内容や、講義の詳細な日程等は、シラバス又は、次の「キャリア教育プログラム」サイトを参照のこと。<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>
- ・「修士リカレント研修【A～D】(1-1, 1-2, 2)」はスライド11を、「修士企業研究インターンシップ【A～D】」はスライド12を参照。
- ・上記の科目以外にも各コース等で開講されている科目でキャリア科目とみなせるものあり。

IIDP開講の修士課程向けキャリア科目時間割(2022年度3Q)

※午後の講義時間が変更になっているので注意！

2022年度3Q	月	火	水	木	金
1-2時限 8:50-10:30			ライブ型 ZOOMIによるリアルタイムオンライン授業 対面型 講義室での対面方式の授業 ブレンド型 対面型、ライブ型等の組み合わせ ※詳細は各科目のシラバス等を確認のこと。		
3-4時限 10:45-12:25		■修士キャリア デザイン演習 【C1】対面型			
5-6時限 13:45-15:25	■Master's Global Career Development Literacy【C】	(講義室 大岡山 S223、S224)			■修士キャリア 構築基礎 【C】ライブ型
7-8時限 15:40-17:20	ライブ型	■修士キャリア デザイン演習(講義室 すずかけ台 G114、G115) 【C2】対面型 ■修士 社会・ビジ ネスのルールと 倫理【C】ライブ型		■修士キャリア 構築ロールモデル 【C】ライブ型	
9-10時限 17:30-19:10				赤字: GAがGA0Mの科目 青字: GAがGA1Mの科目	

- ・「修士研究と社会貢献【C】」ライブ型 は集中講義(①10/7 5-6限、②10/14 5-8限、③10/24 1-4限、④11/7 1-4限)
- ・IIDPが開講する各科目の詳細な内容や、講義の詳細な日程等は、シラバス又は、次の「キャリア教育プログラム」サイトを参照のこと。<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>
- ・「修士キャリア構築基礎」と「修士キャリアデザイン演習」は全く別の講義。連続して履修する等の必要はない。
- ・「修士リカレント研修【C】(1-1, 1-2, 2)」はスライド11を、「修士企業研究インターンシップ【C】」はスライド12を参照のこと。

IIDP開講の修士課程向けキャリア科目時間割(2022年度4Q)

※午後の講義時間が変更になっているので注意！

2022年度4Q	月	火	水	木	金
1-2時限 8:50-10:30				ライブ型 ZOOMによるリアルタイムオンライン授業 対面型 講義室での対面方式の授業 ブレンド型 対面型、ライブ型等の組み合わせ ※詳細は各科目のシラバス等を確認のこと。	
3-4時限 10:45-12:25		■修士キャリアデザイン演習【D1】 対面型			
5-6時限 13:45-15:25		(講義室 大岡山 S223、S224)		■Master's Critical Thinking ライブ型	
7-8時限 15:40-17:20		■修士キャリアデザイン演習【D2】 対面型		■修士キャリア構築ロールモデル【D】 ライブ型	
9-10時限 17:30-19:10		(講義室 すずかけ台 G112、G113)		赤字: GAがGA0Mの科目 青字: GAがGA1Mの科目	

- ・IIDPが開講する各科目の詳細な内容や、講義の詳細な日程等は、シラバス又は、次の「キャリア教育プログラム」サイトを参照のこと。<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>
- ・「修士キャリア構築基礎」(4Qは開講なし)と「修士キャリアデザイン演習」は全く別の講義。連続して履修する等の必要はない。
- ・「修士リカレント研修【D】(1-1, 1-2, 2)」はスライド11を、「修士企業研究インターンシップ【D】」はスライド12を参照のこと。

■修士キャリア構築基礎【A1】【A2】【A3】(1Q)、【B】(2Q)、【C】(3Q)

- 修士課程を修了した後に自らの進路を決め、さらに将来、キャリアを構築していく際に役立つ基本的な知識やスキルを網羅的に凝縮して履修することを目的。博士後期課程への進学と、産業界への就職を含めすべての進路に対応。
- 中央官庁、大学、企業等で豊富な実務経験を持つ教員等が担当。
(2021年度の「修士キャリアデザイン」科目の名称変更)

■修士キャリアデザイン演習【A1】【A2】(1Q)、【B1】【B2】(2Q)、【C1】【C2】(3Q)、【D1】【D2】(4Q)

- 人生におけるキャリアの節目での意思決定のための手順(①自分を知る②(職業)社会を知る③選択の意思決定を行う)を、直近の就職活動を事例としながら扱う。
- 本科目のねらいは、①受講生が狭義の職業キャリアのみならずライフキャリアという観点でも将来のキャリアを描く技術を身につけることと、②受講生が東工大で学んだ各種の知識、能力が仕事や社会のどのような場面で具体的に役に立つのか体系的に整理し、相手の状況に応じて効果的に発信できるようになることの2つ。毎回の授業で、グループワーク、個人演習等の演習を取り入れる。

※「修士キャリア構築基礎」と「修士キャリアデザイン演習」は全く別の講義。連続して履修する等の必要はない。科目の詳細は各科目の詳細な内容や、講義の詳細な日程等は、シラバス又は、次の「キャリア教育プログラム」サイトを参照のこと。<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>

■修士キャリア構築ロールモデル【C】(3Q)、【D】(4Q)

- 起業経験者、大企業勤務経験者、外資系企業、公的機関など多彩な分野の講師が、主なビジネスの紹介、困難を克服した経験、就職や主なキャリアの転換点で進路を決断した理由等について講義を行う。3Qと4Qで外部講師は異なる。
- 受講生は、講義内容を今後の自らのキャリア構築のロールモデルとして捉え、各自の視点で参考や教訓を見出すことが求められる。

■修士社会・ビジネスのルールと倫理【B】(2Q)、【C】(3Q)

- 修了後に産業界やアカデミアで活躍する際の必須の知識として、社会やビジネスのルール（法律、標準、組織内の規則等）についてその概要を理解することを目的。
- また、特許など知的財産権、コンプライアンス、倫理、危機管理についても事例などにより履修する。

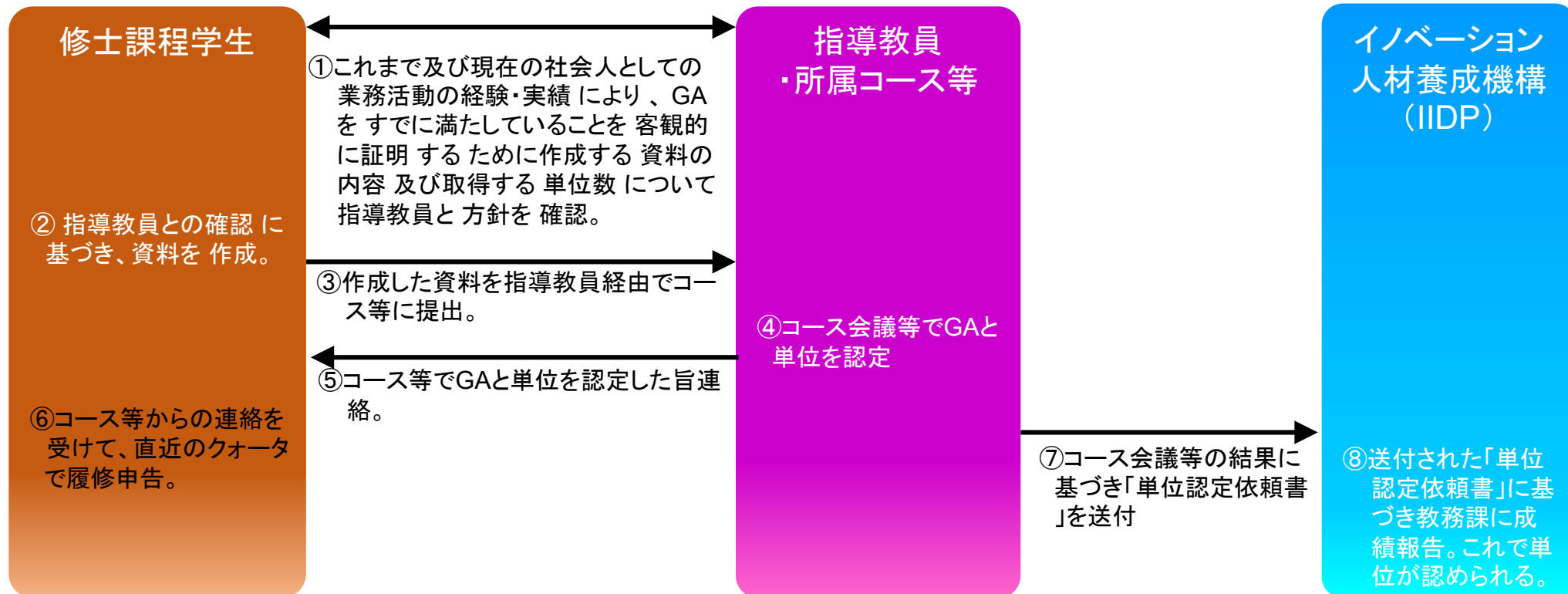
■修士研究と社会貢献【C】(3Q)（集中講義）

- 科学・技術者の研究成果の社会への移転と言うプロセスの一環として、審議会委員および国際学会活動の経験を有する教員による事例紹介を基に、研究と社会貢献及び公平性／利益相反の問題を議論する。
- また、得られた知見を基に、研究者の立場から見た公平性／利益相反の問題を学生間で議論する。この授業を通じて、科学技術の社会貢献の有り様について、自身独自の見解を持てるようにする。

※科目の詳細は各科目の詳細な内容や、講義の詳細な日程等は、シラバス又は、次の「キャリア教育プログラム」サイトを参照のこと。<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>

「修士リカレント研修」について

- この科目は、社会人として実務の経験を有する学生が、これまで及び現在の社会人としての業務活動の経験・実績に基づき、修士学生が満たすべき GA をすでに修得していることをコース等が認定することで、単位を取得するもの。GA は、GA0 と GA1。社会人として勤務した経験のない学生は対象外。
- GA は履修の詳細な手順は、シラバス及び以下の IIDP サイトの「「修士リカレント研修」の履修手順ガイド」参照。
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>
- 単位認定までの手続きは、各コース等で行われるので指導教員を含めよく相談すること。単位取得までの大まかな流れは以下のとおり。



- 取得できる単位は合計で2単位。なお、この科目は、年度を通して柔軟に単位認定ができるように、各Qにそれぞれ1単位のもの2科目、2単位のもの1科目を開講(例えば、「修士リカレント研修1-1【A】」は、1Qに開講する1単位の科目。)

- 企業における中長期のインターンシップの実施に対して単位を認定する。研究開発活動を中心とした企業活動の現場で、従業員と同様な仕事を担当することにより、企業活動における考え方、価値観、仕事の進め方などについて理解することを目的とする。企業見学等が中心の短期間のインターンシップとは異なるので注意。
- フルタイム（1日8時間、1週間40時間を基本に受け入れ先の実態に合わせる）換算で2週間以上で1ヶ月未満を原則とし、1単位とする。GAはGA1Mである。
- 受け入れ企業との研究等のテーマや実施条件の調整、契約などは原則、学生及び学生が所属する各コース等にて行う。なお、所属するコース等にキャリア科目として認められているインターンシップ科目がある場合はそれを優先して履修すること。
- したがって、具体的なインターンシップの目途が立たないうちには、この科目の履修申告をしないこと。

■所属コースの修了要件の確認

「大学院学修案内」より、「各コース等学修課程」で所属コースの修了要件を確認。

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2022/graduate/

■履修するキャリア科目の確認

➤IIDPが開講するキャリア科目は、上記「大学院学修案内」の「教養科目群履修案内」のキャリア科目で確認。

➤IIDPが開講するキャリア科目の内容、時間割はシラバス又は以下のIIDPのウェブサイトを確認。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>

➤所属コース等で開講する、キャリア科目とみなせる科目については、上記「大学院学修案内」の「各コース等学修課程」の所属コースで確認。

■履修手続

東工大ポータルにログインし、メニューから「教務Webシステム」を選択。履修する科目を登録。

【各学生の教務WEBシステム「成績閲覧：修了要件」のページ】

成績閲覧：修了要件

成績閲覧 GPA 修了要件 学生が身に付ける力

- 所属するコースにおける修了要件と修得済単位の対比表です。なお、修了要件は入学時の字修業内を参照しております。修了要件の詳細については、本学HP上に掲載されている字修業内を確認してください。
【字修業内一覧】
<https://www.titech.ac.jp/student/students/life/resources>
- 所属コース以外の教育プログラム等については対応していませんので、各プログラム等の担当にお問合せください。
- 表示されている成績は公開されている成績すべてが含まれています。
- 文系教養科目対応科目を文系教養科目、キャリア科目対応科目をキャリア科目として修了要件に使用する手続きは特ありません。当該コースでの修了判定時に自動的に行われます。
- キャリア科目対応科目をキャリア科目として修了要件に含める場合には、専門科目等として二重に含めることはできません。キャリア科目としてみなした場合について専門科目等の修了要件が不足することがないように充分注意をしてください。（文系教養科目対応科目についても同様）
- 外国人留学生が修得した「日本語・日本文化科目」は対応する番台の文系教養科目として含めることができます。
- 修了要件に「*」表示のあるものについては、当該コースにおける特殊な条件が別途ありますので、表下部を参照してください。
- 修了要件について不明なところは、指導教員もしくは所属コースのコース主任にお尋ねください。 ※字修業内の内容と本ページの表示に齟齬などがあり、疑義が生じた場合には教務課にご連絡ください。

修了要件

		物理学コース 修了要件	修得済単位
教養科目群	文系教養科目（400番台）	2	
	文系教養科目（500番台）	1	
	キャリア科目	2	
	教養科目群（小計）<A>	5	
専門科目群	講義科目	4	
	研究関連科目（R）	2	
	研究関連科目（B）	8	
	コース標準学修課程 専門科目（L）		
	コース標準学修課程の専門科目群（小計）	23	
	コース標準学修課程外の専門科目<C>		
合計<A+B+C>		30	

この欄にキャリア科目でこれまでに修得した単位数が表示されます。修了までにここが2以上になることが必要です。
ただし、各コース等で開講される科目でキャリア科目とみなされる科目（キャリア科目対応科目）を修得した場合、その単位数は、ここにはカウントされませんので各自で別途カウントしてください。

この欄にキャリア科目でこれまでに修得したGAが表示されます。修了までにここに「GA0M」「GA1M」の両方が表示されることが必要です。なお、各コース等で開講されるキャリア科目対応科目を修得した場合にも、それにより取得されるGAはここに表示されます。

修得済GA

COM, C1M

修了には、入学年度の字修業内に記載されているすべてのGAの修得が必要です。



田中秀数 名誉教授・特任教授
Hidekazu Tanaka



ヘイゼル・バントリーノ・ゴンザレス准教授
Hazel Bantolino GONZALES



ダン・リチンスキ准教授
Dan RICINSCHI



和泉 章 特任教授
IZUMI Akira

※IIDPが開講するキャリア科目では多くの学内外の講師の先生にも講義していただいています。

IIDPは講義だけでなく、キャリア構築関連イベントも企画・実施

- 企業や官公庁等外部組織を知るためのセミナーや意見交換、交流の場となるイベントも企画・実施。
就職やインターンシップに向けたきっかけ作りとして是非積極的に参加を！

2022年度修士課程学生向け主なイベント(予定)

	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中長期研究インターンシップ 説明会		●										
留学生就職ガイダンス								●				
特別セミナー 「キャリアとしての国家公務員」等					●						●	

- イベント等の詳細な日程・内容はIIDPウェブサイトで随時提供

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>

- 「キャリア・就職支援」のお知らせサイトでも就職活動やキャリア構築に役立つ最新情報を提供

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career>

東京工業大学トップページ > 在校生の方 > 授業・履修 > キャリア教育プログラム
(サイトの下の方にあります。)

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>



■ IIDPのウェブサイトでは、キャリア科目その他キャリア教育科目に関する情報だけでなく、キャリア構築関連の学内外イベントや研究インターンシップ関連の最新情報の提供をしています。定期的にアクセスしてください。



イノベーション人材養成機構 (IIDP) のキャリア科目

キャリア科目には各コースが開講する自コース学生用の科目と、IIDPが開講する全学用の科目があります。さらにイノベーション科学コース/技術経営専門職学位課程が開講し、全学に公開するキャリア科目も、同コース所属学生優先ですが、枠があれば履修可能です。

開講されているキャリア科目全体は下記のページをご覧ください。

● [大学院授業時間割表 | 授業・履修 | 在学の方](#)

IIDPで開講されているキャリア科目一覧は下記をご覧ください。

- [【2022】修士_前学期キャリア科目時間割 \(2022.4.1現在\)](#)
- [【2022】博士_前学期キャリア科目時間割 \(2022.4.1現在\)](#)
- [IIDP開講科目名称一覧 \(新旧対照表\)](#)

IIDP開講キャリア科目の学修案内およびシラバスは、下記ウェブサイト「IV 教養科目群履修案内」の項目にある詳細ページをご確認ください。

2022年度 | 大学院学修案内

履修にあたり特別な申請等が必要な科目 (※詳細は各科目シラバス参照)

博士アカデミック海外研修 (LAC.A635)

- [履修要項](#)
- [履修申請書](#)

博士アカデミック国内研修 (LAC.A639)

- [履修要項](#)
- [履修申請書](#)

博士企業研究インターンシップ (LAC.P632~634)



Tokyo Tech



Innovator and Inventor
Development Platform

キャリア科目に関する問い合わせ先(修士課程・博士後期課程共通)

イノベーション人材養成機構(IIDP)



Innovator and Inventor
Development Platform



<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/life/career-education>

※大学HPトップページ > 在学生の方 > 授業・履修 > キャリア教育プログラム

[mail: iidpinfo@jim.titech.ac.jp](mailto:iidpinfo@jim.titech.ac.jp)

IIDP事務室: 大岡山キャンパス: 南6号館 406B

すずかけ台キャンパス: J2・J3棟 14階 1419